

スローテンポ通信

第 67 号

2023年5月18日

発行:スローテンポ書店

〒323-0023 小山市中央町3-7-1 ロブレ地階

☎ 0285-32-7211

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

◎注目の本

○『エイジズムを乗り越える』

—自分と人を年齢で差別しないために
アシュトン・アップルホワイト著 白川桂子訳
ころから2023年2200円+税 ☆☆☆☆

年齢差別の現実とその理不尽さを余すところなく解き明かし、対処法とあるべき姿を示す。

なるほど市場経済は高齢者が邪魔だから分断して排除してきたのだ、と気付く。

◎ 参加するだけで、本を読みたくなる

本を読まない人の読書会

毎月第4土曜日午後3時~5時

本を紹介後、自由に話し合います。参加無料、予習不要、出入り自由、発言するしないも自由、とんでも発言歓迎!

次は2023年5月27日(土)

紹介する本は

『七転八倒百姓記』

—— 地域を創るタスキ渡し ——

菅野芳秀著 現代書館2021年2000円+税
☆☆☆☆☆

著者は、農家に生まれたが、農業から逃げてきた。そんな著者を変えたのが学生運動だった。成田闘争と沖縄の住民運動で、未来の子どもたちを守るために、農民たちが老若男女ともに闘う姿を見て、人間にとって農業がいかに大切かを思い知った。

山形県に帰郷し循環型農業を目指したが、それを邪魔するのが米国のアグリビジネスと日本の国であった。

この機会に考えてみませんか。

- ・人生の転機となるもの
- ・アグリビジネスと世界の不安
- ・日本はどうあるべきか
- ・私たちはどうする?

どうする日本人?

外国出身の常連が日本を誉めていた。「財布を落としても、交番に行けば戻ってくる。こんな国は日本だけだ。」

近頃は言わなくなった。代わって「日本人は自分の意見を言わない。」と言う。

なるほど、よくわかる。

フランスで年金支給開始年齢が62歳から64歳にされるというので、連日大規模デモが起きた。日本では開始年齢が実質60歳から65歳に引き上げられたとき、デモなぞ起きなかった。気がついたときには決まっていた。

選挙の投票率は低下の一途で、若者たちは「投票しても政治は変わらない」と言う。

国会では多数派の与党が審議を軽んじて採決を強行する。少数意見は無視するのが当たり前になっている。

介護職員が介護される人を蹴りつけて死なせる。学校の先生が殺人事件をおこす。若者が刃物で無差別に通行人を切りつける。未成年が、アルバイト感覚で強盗団に加わる。

新聞やテレビは、犯罪抑止のための学校教育や防犯対策を取り上げる。

メディアもコメンテーターもずれている。犯罪は社会を映す鏡であり、子どものやることは、大人のまねごとではないのか。

貧富の格差が拡大する。少子高齢化が加速する。貧乏人は、働けども暮らしが楽にならない。結婚もできない。

仕事の不安、子育ての不安、病気の不安、老後の不安、親の介護の不安。不安ばかりがのしかかる。

かたや、カネ持ちたちは幸せだ。黙っていてもカネが集まってくる。多少の不安があってもカネで解決できる。

彼らは努力してカネ持ちになったのではない。多くは親がカネ持ちだったに過ぎない。

もはや、日本は安心して暮らせる国ではなくなった。それなのに、日本人は自分の意見を言わない。民主主義が通用しなくなったのだ。

いや、よくよく考えると、若者たちは「投票しても政治は変わらない」と、見事に日本を言い当てている。

こんな日本に誰がした?

日本人がしたのである。自分で考えないからこうなってしまった。

こんな日本を、どうする日本人?

民主主義を取り戻さなければならぬ。

代議員制度も政党政治も、弱者や少数意見を無視するようになってきている。政治を政治家にゆだね、国民を無関心にし考えなくさせる。

深刻化する政治腐敗や格差拡大の問題は、そのような間接民主主義の結果である。

本来の民主主義は、民を主(あるじ)とする。民が主(あるじ)として、直接政治に関り直接主張するのが直接民主主義である。民主主義を取り戻すとは、直接民主主義を復活させることである。

ではどうするのか。

幸せの絶頂でない限り、誰もが困りごとを抱えている。漠然と不満に思うだけでなく、困りごとをはっきりさせ、解決の方法を考える。多くの課題は政治が絡んでくる。

政治家に直接意見をぶつける。市役所に相談する。無視されたりおかしなことを言ってきたら、きちんと問いただす。

学校の教師が子どもに変なことを教えたら、きちんと抗議する。

自分にも相手にも、「民が主(あるじ)」と確認することを忘れない。

政治家は国民の代弁者であり、公務員は国民のしもべである。教師は国民から子どもの教育を託された専門職業人である。

対話が得意の人類が、今の日本では「上に聞いて見ます」「前例がありません」と言って対話から逃げる。

「私は指示通り動く羊です」と白状しているのである。直接民主主義は、羊を人間に戻すことから始まる。

日本人は、モンクを言わない従順な羊になるよう教育されてきた。モンクを言うのははしたないと教えられた。

このまま日本を沈没させないために、まず、自分自身が羊をやめて人間になろう。(ブログより抜粋)



本好きも本嫌いも

本のよさを再発見する!

スローテンポ書店

小山駅西口 ロブレ地階

オープン: 火、木、土 13時~19時

祝日はお休みです。



日本を見つめ、世界を見つめ、自分を見つめる。本があなたを待っています。

☆スローテンポ懇話会

ディベート型ではなく課題解決型で話し合います。困りごとを出してください。いっしょに考えます。どなたも歓迎!
第2土曜日 午後3時~5時、参加無料。

☆スローテンポ文章教室

ChatGPTにはまねのできない、本人にしか書けない個性的な文章を目指します。書いた文章を持ち寄ります。文章を人に読んでもらうことによって、考えが整理、点検され、新たな飛躍や自己発見にもつながります。

第2木曜日午後3時~5時、参加費500円。